

# 競技規則

## 競技規則の中で関係深い項目を抜粋しました。

○ビュットを投げる前に、サークルにマーキングをする。(罰則対象)	第6条8
ビュット、ボールにマーキングをする。(罰則なし)	第12条3・第22条2
○最初に投げたビュットが無効の場合、相手チームが有効範囲内にビュットを置く。 但し、10mの距離に置けない場合には、サークルを後退する事が出来る。	第17条5
○サークル及びビュットが障害物から1m以上で、他コートで使用のサークル及びビュットから2m以上離れていなければならない。	第7条2
○投げたビュットが無効にするには、両チームが認めるか、審判員が無効と判断しなければならない。 一方的に無効と判断した場合は、そのチームはビュット権を失う。	第8条4
○サークルは踏んではならない。 投げたボールが着地する前に足がサークルから出たり、地面から完全に離れてはならない。(罰則対象)	第6条14
○ティールするボールの前をならしたり、2つ以上の窪みを埋めたりしない事。 (罰則対象)	第10条2
○投げるボールが残っている時に、サークルを拾い上げた場合、サークルは元に戻すが、相手チームしかボールを投げる事が出来ない。	第6条17
○投げるボールが残っている時に、有効区域内の味方チームのボールを拾い上げた場合、そのチームは残りのボールを投げる事は出来ない。	第27条3
○投球するチームの選手は、ビュットとサークルの間に位置する事ができるが、相手チームの選手は、ビュットの先又は、投球する選手の後方で、競技する方向に対して、横側2m以上離れている事。	第17条3
○審判員が計測中、選手は審判員から2m以上離れていなければならない。	第25条4
<b>罰 則</b>	
○イエローカード(警告) 投球時間の違反(1分以内)に対しては、違反した選手のチーム全選手に適用される。 試合中の投球練習の禁止 既にイエローカードを受けた選手は、そのメーヌで1球を無効とされる。 もし投げるボールが無い場合は、次のメーヌで投げるボール1球を無効とする。	第35条1-1 第21条1 第18条1
○オレンジカード 投げたボール又は、これから投げるボールの無効。	第35条1-2
○レッドカード(失格) 違反選手のその試合に於ける出場停止。 違反チームの失格。共謀した場合の両チームの失格。	第35条1-3